

地域おこし協力隊 ～年間活動報告と今後の目標～

地域おこし協力隊とは…？

都市部から過疎や高齢化の著しい地方に住所を移し、地域づくり活動を行いながらその地域への定住に繋げることを目的とした制度です。

現在高山村には4人の隊員がいます。

4人から、いままでの活動報告や今後の目標などを聞いてみました。



西山 大樹

高山村地域おこし協力隊の西山大樹です。

昨年度の地域おこし協力隊の活動では、高山村宿泊プログラムを3回実施しました。農業に興味のある方や田舎暮らしに興味のある若者、高山村への移住を検討している方に向けて企画を実施しました。主に「豊かさとは何か」というテーマで5日間過ごしていただき、自分の生き方や価値観について深く考える時間を提供しました。5日間の中で、自分について社会についてじっくり考えることで涙する人もいたりしていい時間だったなあと感じる回もあれば、自分の準備不足であたふたしたり、参加者に任せるべきところをうまく任せられずにお客様扱いしてしまって凹んだりしてジタバタする回もありました。

昨年11月の道の駅のイルミネーション点灯式では、「星の市」という小さなマルシェを企画させていただいたり

もしました。準備を一人でやったため結構大変でした。もっと自分自身が気楽に楽しんでやれる方法を模索して今後も時期を見て誰かと協力してマルシェ企画できればと思っています。

今年の3月には4回目の宿泊プログラムを企画していました。まん延防止の関係で中止になってしまいましたがその時にやる予定だった内容は、高山村で過ごすことを想定したプラン設計を3泊4日高山村で考えるというプログラムでした。これまで行ってきたテーマとは違い実際に移住・定住につなげていくためのものだったので自分にとってこのプログラムはチャレンジな企画でした。残念ながらコロナの影響でできなかったため、来年度も移住・定住につなげるために開催しながらパワーアップさせていこうと思っています。

私は来年の3月で地域おこし協力隊の任期が終わります。任期後は高山村に地域おこし協力隊を採用・受入・サポート・各機関との調整などをする中間支援団体を立ち上げようと考えているので、4月からのメインの活動はそれに向けた準備を進めています。それとは別に個人的に高山村

には面白い人がたくさんいると思うし、もっともっとそんな人に出会っていききたいので、高山村についてみんなで考える機会を作ったり、100人カイギ（詳細はまたお伝えします）を毎月開催したり、この他にも面白おかしい企画をポンポンとやっていこうと思っています。たかやま未来センター「さとのわ」では、そんな企画を何回もやる人として関わることになると思います。「さとのわ」という一つの場所ができることによって今よりもっと多様な人と交流できるきっかけがたくさんできるだろうし、そんなきっかけをつくっていききたいです。さとのわ以外でも、昨年と同じ場所で田んぼも運営します。屋内でも屋外でも色んな繋がりを生み出していきます。

今年度もどうぞよろしくお願い致します。



4月の星空

○星図の説明

15日午後9時の星空です。

月初めの午後10時、月末の午後8時にも同じ星空になります（「月」を除く）。

※17日（明け方）が満月です。





城 智子

高山村に移住して半年が経ち、移りゆく季節を楽しみながらも、めまぐるしい日々を過ごしてきました。穏やかな時間も、短い期間で色々な人に出会った刺激的な時間も、豊かでとても濃厚な毎日です。

協力隊の活動としては、道の駅に新しくできる施設「さとのわ」に入るカフェの担当として、オープンに向けての準備を進めています。知識も経験も足らず学びながらではありますが、みんなでアイデアを出し合い、力を借りながら、高山村の魅力ある中心地作りに携わるひとりとして取り組んでおります。

カフェで提供予定のピザやジェラートの研修に行かせてもらったり、個人的にも県内外の道の駅にアチコチ行ってみたいと情報収集をする中で、沢山の発見と出会いがありました。そこで得たことをいい形で表現していけたらと思います。試作も重ねて

るのですが、ピザに関してはもうすでに20年分は摂取したような感覚も。。。高山村のタカラを活かした、ここでしかできないカフェにしたい。そんな意気込みだけはあるものの、まだまだ高山素人でまずは村の事を知ることが課題な私。そのひとつとして、現在村の農家さんを訪問させていただいており、皆さんから沢山お話をきかせてもらい、おかげでこの数カ月で高山村知識度レベルは確実にアップしていますし、村の食材がますます好きになっています。なかなか全農家さんをお尋ねするには時間がかかってしまいそうですが、高山を知ることへの追及はずっと持ち続けたいし、まだまだ皆さんへのインタビューも続けていきたいと思っているので、おじゃまさせていただいた際はどうぞよろしくお願いいたします。

これから未だ見ぬ高山の春を迎えます。高山の天国だとウワサの春。ずっと待ちわびてきた春！桜も色づき始め、厚いコートもいらなくなり、もうワクワクでたまりません。

「さとのわ」オープンまで刻々と時は過ぎていますが、協力隊として

まだまだ自分にできることは何か見つけながら、そして高山村暮らしも楽しみながら、進んでいきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



協力隊交流でピザ作り



ジェラート研修にて



西角麻美子

2021年12月から、地域おこし協力隊として埼玉県から高山村に引越してきました、西角です。

高山村とのご縁は2019年、当時は長野県東御市のワイナリーでブドウ栽培やワイン醸造技術を学びながら、ブドウ栽培に適した土地を求めて日本各地を訪ねて農地を見たり現地の方とお話をしたりしていました。その中で高山村の水はけの良い、地中に軽石がゴロゴロと埋まっている黒ボク土の土壌、標高が高く冬は寒いですが夏は涼しく昼夜の寒暖差の大きい気候、出会った人々の人柄にひかれてこの土地でブドウ栽培にチャレンジし将来はワイン造りをしようと思えました。

まずは荒れてしまっていた土地を1年間かけて開墾し畑へ、2020年にブドウの苗700本を植え付けました。仕立ては棚ではなく垣根での栽培です。5月の遅霜が心配でしたが

←24ページに続きます

1本も枯れること無く無事にスタート出来ましたが、その後は葉っぱにつく虫を1匹1匹ピンセットで取ったり、元気づける雑草を刈ったり、自然を相手にする事は本当に大変だということを実感しました。同時に自然の中に身を置く気持ちよさと、一生懸命にお世話をした事に応えてくれる農業の楽しさ、やりがいも感じられました。2021年も沢山の苦労がありましたがブドウは順調に育ち、試験的に200キロのブドウを収穫し、ワインを醸造しています。ブドウに付着した天然酵母での醗酵は順調にすすみ、現在はタンク内で熟成されています。今後は、農地を広げてワイン醸造免許取得に必要な量のブドウをつくること、その状況を見ながら平行してワイナリーの設立を目指していきたいと思っています。

私はワイン工場の工場長になりたいわけではなく、あくまでも農産物として高山村で育てたブドウを手造りでワインにする、収穫した年がどのような気候だったか、どのような1年だったかを表現する飲料として心をこめたワインを造りたいと考えています。同時に高山村での四季の

移ろいや自然を感じながら生活できる事、自分の求めてきた豊かな生活が高山村にはある事を発信していきたいと思っています。皆様、引き続き宜しくお願い致します。



新施設
たかやま未来センター
さとのわ
ロゴマーク決定！



たかやま未来センター
さとのわ

詳しくは4ページを
ご覧ください。



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話をください。お待ちしております。(※A・B) ☎26-7944(直通)



新 田 石坂 尊琉さん(2歳)

ぼくの名前は「たける」です。パパが、男の子なら「やまと」か「たける」がいいと言って、家族みんなで考えて決めました。漢字を考えたのはパパとママです。尊い命を大切に、一瞬一瞬を宝物のように感じられる様にと願いを込めてくれました。

甘い物大好き！アイスや飴はもちろんです。が、やっぱりいちばんはイチゴ(やよいひめ)が大好きです。フルーツがあれば何よりも先に食べちゃいます。

なんでもお姉ちゃんとお兄ちゃんの真似をして色々覚えます。お姉ちゃんの和太鼓演奏が大好きで、お兄ちゃんにダンボールで作ってもらった太鼓を鳴らして遊びます。

★未っ子として、みんなに愛され育っています。これからも、大家族の中で元気に大きくなあれ！とママ。



新 田 石坂 咲菜さん(2歳)

わたしの名前は「えま」です。花が咲いたように笑顔が可愛らしく、周囲を和ませてくれるような優しい子に育てて欲しいという願いを込めて、両親が名付けてくれました。

おままごとやアンパンマンが大好きです。年長のお兄ちゃんが大好きで、いつもお兄ちゃんの真似をしては遊んでいます。2人で行き合ってキャッキャ言っている姿は、見ていて微笑ましいです。

好きな食べ物はイチゴ！ほぼ独り占めしてしまうくらい、大好きです！

★咲菜の笑顔が、笑い声が、ママは大好きです。この先も、たくさんの人に見守られて、愛されて、大きくなっていてね。とママ。



大澤 雅美

こんにち。地域おこし協力隊の大澤です。

寒さも和らぎ、暖かさが心地良く散歩していると福寿草が花を咲かせていていました。畑の準備をするひとの姿もみかけるようになり、春の訪れを感じる今日このごろです。

最近の主な活動は、道の駅に新しくできる施設「さとのわ」のデザイン関係のお手伝いをデザイナーさんと一緒にさせていただいています。若いひとを中心に、長い時間をかけて高山村の未来について考えたことが形となり、村のひとたち同士・高

山村に遊びに来てくれるひとたちが、ワクワクするような場所になったらいいなと思いながら携わらせていただいています。

高山村に来て感動したことのひとつは、食べもののおいしいこと。村でどんなものが育てられているのかわかりたくて、農家さんを巡らせてもらっています。こんな機会がないとお会いできない方ともお話しすることができて、とても楽しい時間です。

地域おこし協力隊になってからはじめたスタンプラリーからのやま巡りも、「暖かくなってきたからまた再開したよ～」と言ってくれる方もいます。お散歩コースがあったり、ワークショップを開催したりしていますのでよかったら、たからのやまを巡ったり、ワークショップなどのイベントに遊びにきてください。



「さとのわ」に設置する
木箱づくりワークショップの様子



▲「さとのわ」
Instagram
さとのわに関連する情報をUPしています。



▲「高山村」Facebook
4/2に竹でつくる鍋敷きのワークショップを開催しました。イベント情報などは、こちらのFBに随時更新中です。